



岩船魂

村上市立岩船小学校
学校だより No.11
令和7年3月15日
<http://www.iwafune.ne.jp/~iwax2-10>
E-mail:school@iwafune-e.murakami.ed.jp

めざす岩船っ子の姿（教育目標） 「深く考え 優しく思いやり たくましくやりぬく子」

『6年生のために』

校長 佐藤 進

2月28日、「六年生に感謝する会（以下 六感会）」が行われました。4月から学校のリーダーとして活躍してきた6年生は、優しくそしてたくましく振る舞い、いつも下学年から慕われていました。その6年生のために、下学年が感謝の気持ちを込めて「六感会」を計画しました。次年度リーダーを引き継ぐ5年生を中心に、何度も計画を練り直し、本番までの準備を進めていきました。どうしたら6年生が喜んでくれるだろうと考え、どの学年も心を込めて練習していました。

そして当日、4年生が作ったお花のアーチの下を、5年生のマーチングの演奏に合わせて6年生が入場します。下学年は温かい拍手で迎えます。次に児童会のシンボルでもある「児童会歌」を元気よくみんなで歌い、子どもたちの気持ちが一つにまとまりました。6年生クイズでは、一人一人を紹介し、改めてこれまでしてもらったこと、優しくあったことを思い出します。次に、2年生の「虹」の合唱です。歌詞を聴いているだけでも涙があふれてきそうになります。歌声にも心がこもっています。続いては、4年生によるエールです。中学校での活躍を願って、体育館には4年生の応援の音が響きます。その後は、6年生からお礼の出し物。自分が「できるようになったこと」を披露していきます。6年生のすばらしい技に思わず見とれ、歓声やため息が漏れます。最後に、あこがれである6年生から在校生にエールをもらいました。フィナーレでは、3年生が巻物を広げて感謝の気持ちを表したり、1年生が心を込めたすてきなプレゼントを渡したりして、六感会の幕を閉じました。終わった後も、体育館の中には感謝の気持ちがあふれ、子どもたちは温かい気持ちに包まれていました。きっと、6年生の心の中に、小学校のうれしい思い出の1ページとして飾られたことでしょう。



3月に入ると卒業式の練習が始まりました。教室では、卒業式に向け元気な式歌や呼びかけの練習の声が聞こえます。校歌については、2月に児童会の運営委員会の企画による校歌検定が行われ、しっかり歌詞を覚えしました。この校歌検定がいつから行われたのかは定かではありませんが、毎年この時期に行われている岩船小学校の伝統行事です。校歌検定は、暗記した歌詞を紙に書き写すという、岩船小愛が試される仕様となっていて、子どもたちも苦戦している様子がうかがえました。しかし、校歌検定をとおして、岩船小学校の歴史を感じ、いつまでも校歌を大切に歌い継いでいこうという気持ちが高まったのではないのでしょうか。幼い頃に覚えた小学校の校歌は、大人になっても忘れないものです。きっと6年生も、将来何かの機会に集まったときに、肩を組みながら校歌を歌っていることでしょう。

3月24日は卒業式。在校生は卒業生に、卒業生はお世話になった人に、「歌声」や「呼びかけ」「凛々しい姿」で成長した姿を見せてくれることでしょう。在校生が6年生のために心を込めて歌った合唱に送られて、卒業生が晴れやかに岩船小学校を巣立ってくれることを願って止みません。



*** 保護者、地域の皆様、1年間ご支援いただきありがとうございました ***